

保育計画成果報告書

法人名等	リンクイノベーション株式会社
施設名	イオンモール与野ルピナス保育園
報告者（役職）	木村 美文（園長）
住所・連絡先	さいたま市中央区本町西 5 - 2 - 9
	☎ 048-851-0009
	E-mail lupinus@f-kids.co.jp

○タイトル（保育計画）

様々な遊びを通して楽しみながら心身の成長へ繋げよう

○主な助成備品

ウェイブ平均台、バランスストーン、絵本棚、絵本、人形セット

1. 保育計画策定の目的

ルピナス保育園は、平成 29 年 4 月に事業所内小規模保育園として、イオンモールの中に開園しました。0、1、2 歳児で 19 名となっており、主活動、給食は担任を設け年齢別に保育を行っています。開園したばかりということで玩具の種類が少なく、同じ遊びが続いてしまうことが課題となっています。

天気の良い日は積極的に公園へ遊びにいらしていますが、夕方になるとお迎えの遅い子は室内で過ごす時間が長くなる他、天候の悪い日が続くと活動量が減り、身体を動かすことが大好きな子ども達もなかなかのびのびと遊ぶことができずにいます。今回はこういった課題を少しでも改善し、子ども達に充実した毎日を送ってもらいたいという考えから、バランスストーン、ウェイブバランス平均台、絵本棚と絵本等の購入を希望しました。

2. 具体的な実施内容

【バランスストーン、ウェイブバランス平均台】

〈期待する効果〉 バランス感覚を養い、体のコントロール力を高める

年齢によって発達に合わせた遊びができるよう、遊び方を変えて活動を行いました。

- ・0 歳児・・・ウェイブバランス平均台に慣れてもらうため、円の形に繋げ、その中にボールを入れ、ボールプールとして遊ぶ。ボールで遊ぶことと一緒に平均台を登ったりこえてみたりと平均台に触れる機会を多く作り興味が持てるようにする。一人歩きができるようになり、安定したら、登る、降りるの動作を楽しむ。



・1歳児・・・平均台を短めに繋げバランスストーンは間隔を短くして用意する。また平均台はカーブを無くし、まっすぐ繋げる。バランスがとれるようになってきたら、カーブをつけて平均台を用意する。



・2歳児・・・平均台を長く繋げ、カーブを用意する。バランスストーンと共に、トンネルやマットや山を用意し、プチアスレチックを作るなど形を工夫する。



0歳児はまだ歩行が安定せず、平均台もどのように遊ぶかが分からないため、遊びの中で支えながら少し平均台に登ってみる、保育士が登っている姿を見せ意欲を高めています。歩行が安定した際は、バランス感覚を高めるために支えながら平均台の上を歩く感覚を覚えていきます。

1歳児はできるだけ支えなしで歩けるよう、必要な時だけ援助を行います。苦手な子、自分からチャレンジする子に合わせ、支え方も変えるようにし、自分で手足をどのように使いバランスをとるかを考えながら覚えていくことを大切にしています。

2歳児はほとんどの子が支えなしで平均台を楽しめるため、トンネルやマットを用意し、しゃがむ、登る、転がるなど様々な運動を取り入れました。手足の使い方やバランスのとり方を自分で考え行えるようになることで、基礎の運動能力が高められると考えています。

【絵本棚・絵本】

〈期待する効果〉絵本への興味を高め、発語を促す、表現力を高める

絵本が大好きな子ども達。その気持ちを高めるため、子ども達が自分で絵本を選べるように絵本棚に様々な絵本を用意しました。今日は何の絵本を読もうかなと自分で選ぶことで、お気に入りの絵本を見つけ、くり返し読むことの楽しさを知ってもらいます。また保育士が子どもと一緒に絵本を選び読むことでスキンシップをとり、愛着関係を高めていくことにも繋がっていきます。



【ポポちゃんセット】

〈期待する効果〉2歳児や1歳児の小さい子への接し方を知る。優しい気持ちを育てる

1、2歳児になると、小さい子への興味が強くなり、お世話をしたいという子も増えてきました。けれど力加減や、接し方がわからないという姿が見られたため、小さい子への接し方はポポちゃんを通し知っていこうということで、夕方などはお人形遊びを行う時間を用意しました。髪の毛や腕をつかんだ際は痛いということを伝え、どんな風に抱っこをしたらよいかをその都度見せています。また、お布団や着替えを用意し、ポポちゃんにお世話をすることで、自分の身の回りへの意欲を高めていきます。

3. その成果と評価

【バランスストーン、ウェイブバランス平均台】

0歳児も歩行ができる子は自分から登ろうとする姿が見られるようになりました。まだ1人でバランスをとって歩くことは難しいですが、両手を持ち支えるとゆっくり歩こうとします。体に力を入れ1人で立つという意欲もあり、少しずつですが、バランスのとり方や足の使い方を覚えています。

1歳児は1人でできる子、片手で支える子など様々でしたが、初めて平均台を用意したときは全く立つことができなかつた子も、立ってゆっくりと歩くことができるようになりま

した。ウェイブバランス平均台は、波のような形になっており、歩く時も登る・降りるの動作が必要でしたが、足や手でバランスをとり落ちることなく歩けるようになり、バランス感覚が身に付いてきたと感じます。また、ゆっくり歩く子がいると後ろで待っているなど、順番やお友だちと遊ぶ際のルールも考えていけるようになりました。

2歳児は、平均台の上を歩く速さも上がり、曲がり角もスピードを落とすことなく最後までできるようになっています。お友だち同士で声をかけ合い、順番を考えたり、一緒に渡ろうとしたり、遊び方を工夫する姿も見られます。バランスストーンも間隔を長く置いても、短く置いても、手を横に広げバランスをとり、しっかり渡りきることができます。その成果か、公園でも転ぶことが少なくなり、様々な遊具に挑戦しようという意欲も以前より高まってきました。室内でも十分に体を動かすことができるので、体力もつき、少し遠い公園まで歩くことができるようになるなど、基礎の運動能力が身につけているなど実感しています。

【絵本棚・絵本】

子ども達が自分のお気に入り絵本を見つけ読んで欲しいと自分から保育士へ持ってくる姿が見られるようになりました。絵本を通して言葉を知り、覚えた絵本は自分で声を出し読むこともできるようになっています。絵を見て物の名前を覚えたり、絵本を通して保育士と会話をし、以前よりも会話をする機会が増えてきました。動の活動だけでなく、静の活動時間を入れることにより、子ども達の集中力が高まり、製作の際も保育士の話をしっかりと聞いて言葉を理解したり、粘土では作れる形が増えるなど表現力も上がっていると感じます。

【ポポちゃんセット】

2歳児の子ども達はポポちゃんが大好きになり、お布団に寝かしつけたり、抱っこをしてあやす真似をする可愛がる姿があります。まだまだ、頭を掴んで持ってしまうこともありますが、“痛いよ”と伝えると優しく抱っこをしてあげたり、頭を撫でてあげるなどの接し方を考えることもできるようになりました。自分がオムツ替えをする際も、“ポポちゃんと一緒だね”と話すこともあり、自分の身の回りのことへの意欲への高まりも感じています。0歳の子の頭を撫でる、泣いていると様子を見るなど、小さい子への優しい気持ちが少しずつ、芽生えていることを実感しています。

4. 今後の課題と展望

開園当初よりも玩具が充実し、子ども達も毎日様々な活動をするできるようになっています。平均台をきっかけに職員も子ども達にどんな運動能力を伸ばしていきたいかを話し合う機会もでき、子ども達ができるようになっていく過程を見ることができたことで保育をしていく楽しさを感じることができました。今後も平均台やバランスストーンでの遊びの幅を増やし、室内でも体を十分に動かすことができる環境を作っていこうと考えています。

そして、これからも保育の質を高め子ども達にとってより良い日々が過ごせるように努めていきたいと思えます。

以上